

「新入会員インタビュー調査」 実施報告



社団法人 京都府介護支援専門員会
Corporation Kyoto Caremanager Association

調査・研究委員会

新入会員インタビュー調査について

- **調査目的** ①新入会員の入会動機や会に期待することを聞き取り、会活動に参加してもらうきっかけを作る。
②新任のケアマネジャーが、現場の業務において、何を課題としているのかを把握し、
職能団体としてのサポートを考える。
- **調査期間** 2010年6月26日～2011年3月27日
- **調査対象者** 入会歴1年未満（概ね）の会員（調査協力の上承を得られた会員）
- **選出の方法** 総会、研修会の出席予定者の中から、事務局で無作為抽出（3名）
職場訪問可能な会員を調査担当者により選出（2名）
- **協力者属性** （性別）男性2名、女性3名
（ブロック）4ブロック
（勤務先事業種別）介護老人福祉施設、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護
（ケアマネジャーの実務経験） 概ね1年未満
- **調査方法** 半構造化面接（4項目程度の質問に対して、自由に語ってもらう）
所要時間：20～30分
- **分析手続き** KJ法
- **倫理的配慮** 調査対象者のプライバシーを保護し、個人が特定されないように努め、
目的以外にデータを使用しないことを説明し、調査対象者の同意を得た。



◎入会の動機は？

- ・ 法人内のケアマネジャーに誘われた。
- ・ 地域のケアマネジャーに、一緒にやっこいこうと後押しされた。
- ・ 自分のスキルアップのため、良いきっかけとなると思った。
- ・ 高齢者分野で働くのは初めてで、情報を得たかった。
- ・ 試験に受かったとき配布されたので、職能団体があることを知った。
- ・ 研修に誘ってもらい、その時に入った。

◎情報収集について

- ・ 職場、法人内、地域のケアマネジャーから情報を得ている。
- ・ 職場では、国の方向性や論議されている内容が入ってこないなので、会に期待する。
- ・ ケアマネジャーの立ち位置がどうなるのか、気になるので注目している。
- ・ 自分のやっていることが合っているのかどうか確かめたい。
- ・ 「安心」を覚えてしまうと「アンテナ」が働かないので、常に新しい情報を得る「アンテナ」を張っておきたい。
- ・ メールマガジンの配信・ケアマネポートは参考になっている。
- ・ 当会のホームページは、あまり見ていない（わかりにくいため）。



◎交流はありますか？

- ・ 地元に馴染みがないので、知り合いを増やしたい。
- ・ 施設勤務のケアマネジャー間のつながりがあまりないので、地域内の居宅勤務のケアマネジャーに話を聞いてもらう。
- ・ 当会のブロック活動については、ほとんど知らない。
- ・ 新任のケアマネジャーが、何を楽しみにして、何を負担に感じているのか、語り合える交流の場があればいい。

◎研修、スキルアップについて

- ・ 生涯研修の仕組みや、研修受講について、目に見える形になっていたら励みになる。
- ・ 偏ることなく、全ての領域のスキルアップを図りたい。
- ・ 自分の得意でない分野の理解を深めたい（医療との連携・社会保障系）。
- ・ 社会資源開発、ソーシャルアクションの実践事例を聞き、先輩から学びたい。
- ・ 定期的な（1ヶ月、2ヶ月に1回）研修等の開催を希望する。
- ・ 研修日程は早めに知らせてほしい。
- ・ 余裕がなく、研修に参加できていない。
- ・ 研修にはできるだけ参加したい。施設勤務のケアマネジャー向けの研修が少ない。
- ・ 小規模多機能型におけるケアマネジメントのみにとどまらず、居宅介護支援事業所向けのケアマネジメントの研修にも行ってみたい。





◎どんな職場（体制）ですか？

- ・ 主任ケアマネジャーが配置されているので、わからないことは教えてもらえる。
- ・ 全く初めてで「一人ケアマネ」。不明点があれば電話で連絡を取り、前任のケアマネジャーや地域のケアマネジャーに教えてもらってやっている。
- ・ 施設での勤務も初めてで、「一人ケアマネ」なので、わからないままやっている。
- ・ 施設で専任のケアマネジャーを配置しているところは少なく、なかなか相談できるところがない。

◎業務について

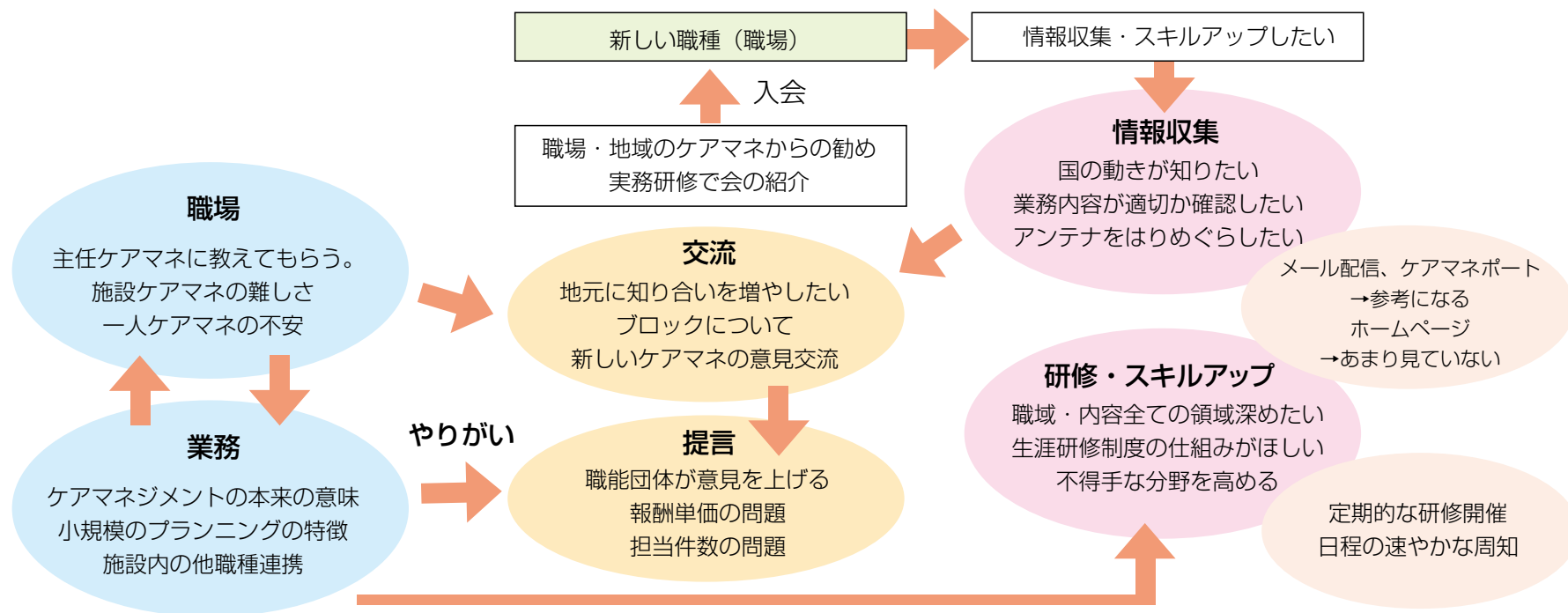
- ・ ケアプランをたてるのに時間がかかり、何処を見ていくのか悩む。
- ・ ついついサービスから入ってしまう。
- ・ 自分自身がケアマネジメントの本来の意味がつかめていない。
- ・ 小規模多機能なので、他の業務も行う。ケアマネジャー業務は半分くらい。
- ・ 小規模のプランは居宅と施設の「真ん中」であり、全て内部で行うので、細かい内容が可能であり、ケアプラン変更もすぐに行える。
- ・ 施設勤務のケアマネジャーは、「介護職員にどう動いてもらうか」が難しい。

◎「やりがい」について

- ・ 施設ケアマネとして勤務しているため、自身の作成したケアプランが、現実として援助に直接つながり、目に見え、楽しんでもらえる、ということが実感できる。
- ・ 最初は楽しいと思わなかったが、本人家族の望む生活が、自分がケアマネジャーとしてかかわることにより実現していることが実感できて楽しい。
- ・ 居宅介護支援の場合は割り切って仕事をするのができ、施設のように「板ばさみ」で悩まされることはない。一人のため楽な面もあるし、一人だから責任も重い。任されていると思うとやりがいを感じる。
- ・ 家族と距離が近くなった。本来高齢者が住む自然な姿は、「居宅」と気づいた。視野が広がった。

◎提言

- ・ 職能団体なので、意見を上に上げてもらえる。情報を職能団体から発信してもらえたら不安がなくなる。
- ・ 小規模多機能型居宅介護は、利用者・家族には良いサービスである。しかし、単価が安く、働く側の負担が大きいため、離職率が一番高いといわれており、そのうち本来の理念に基づく運営ができない事業所が出てくるのではないかと危惧している。
- ・ 事業所のケアマネの平均担当件数は40件(未満) が上限だが、この数で、きちんと仕事ができるのか疑問に思う。(注：標準担当件数はあくまで35件である)



◎考察

新人ケアマネジャーが置かれている職場（業務）、それぞれの職歴が異なるので、求めるものも当然異なってくる。しかし、新しい仕事への不安と期待が入り混じった中で、「会」の存在、身近な仲間の存在が心強いというのは、共通しているのではないだろうか。必要とする時期（例えば「実務研修終了時」）に、適確な情報発信、入会の案内があることは、重要と思われる。また、不特定多数に向けての「入会の誘い」だけでなく、身近な地域で働いている、顔見知りのケアマネジャーからの誘いは、さらに背中を押すものであることがうかがえた。

研修の機会も、入会の動機につながる。各職域におけるケアプラン作成の実際をはじめ、ケアマネジメントの本来の意味の確認、医療との連携、社会保障、社会資源開発など、特定の分野に偏ることなく、スキルアップが図られ、しかも、ケアマネジャーにとって「目に見える」ことが必要と感じた。また、研修と並んで、交流の場での悩みや喜びの分かち合いも、新人ケアマネジャーには大きな要素であり、当会に所属するメリットである。

当会に期待していることとしては、「情報発信（収集）」がある。日々の業務が制度に左右されることが多い中で、的確な支援を行うためには、情報収集が欠かせない。身近なところで情報が得られる場合もあるが、そうでないことも多く、職能団体への期待は大きい。その一方で、ホームページ等情報収集ツールがわかりにくいという意見もあった。ホームページ等の改善を計る特に、入会当初においては、当会の活動や当会が発信する情報により早く、適確にアクセスできるよう、いっそうのサポートが望まれるところである。

最後に、前述した提言のとおり、新会員が職能団体である当会に対して、どのようなことを期待しているのかを、あらためて確認することができた。研修や交流でのスキルアップや、職場における実践の積み重ねだけではなく、「ケアマネジャーがやりがいを持って仕事を続け、ケアマネジメントを必要とする人々が安心して暮らせる社会」を実現するためには、職能団体としての提言が欠かせないことは、会員すべての思いでもある。



◎この調査を通して

1. 新会員が、当会の活動に参加しやすいように・・・

- * 研 修：体系的に整備し、スキルアップが目に見えるシステムが、将来的には必要ではないでしょうか。職場の状況にあわせ、参加しやすい研修の提供方法・周知が求められています。
- * 交 流：様々な交流の場（地域、職域、課題別、先輩・後輩、広報などの媒体）があれば、新会員も参加しやすいとされます。ブロック、委員会の活動に積極的に参加してもらえたら、会の組織力も強化されると思います。
- * 情報発信：各種情報の発信源として、アクセスのしやすさを追求し、実現していくことが期待されています。

2. 新人ケアマネジャーが、職場で迷いなく仕事ができるように・・・

- * 研 修：複雑な介護保険制度のしくみを理解・確認することが必要と思いました。ケアマネジメントの基本を振り返り、実務研修で学んだことが、職場で実践できるための研修が求められているのではないのでしょうか。
- * 交 流：「一人ケアマネ」が多いことも鑑み、地域で会員同士気軽に相談し合える、仲間作りのサポートができたらと思います。
- * 情報発信：介護保険制度関連の知識や最新の情報を、わかりやすい方法で速やかに提供していくことが期待されています。

以上のことに取り組んで参りたいと思います。多くのご意見有難うございました。

